



K中通信

学校だより 9号
令和元年11月20日
横浜市立軽井沢中学校

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

【学校教育目標】 『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます（知・徳・公）
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます（体・開）



山茶花（さざんか）を 雀のこぼす 日和かな

正岡 子規

校長 星野 久美子

11月頃の穏やかで暖かいある日。
雀が山茶花の枝を飛び交うたびに、花びらがこぼれ落ちる情景を詠んだ俳句です。山茶花は童謡にも歌われ、椿によく似ていてとても良い香りがします。街で探してみてもいいでしょうか？

10月25日・26日に行われたK中祭文化祭部門、並びに26日に行われた授業参観では、多くの保護者や地域の方々にご来校いただきありがとうございました。25日に行われた合唱コンクールでは、昨年度も審査員として採点に苦慮しましたが、今年もどのクラスも甲乙つけがたい素晴らしい発表が続きました。合唱コンクール恒例のPTAコーラスでは「ホール・ニュー・ワールド」が歌われました。この歌はアニメーション映画「アラジン」で、アラジンがジャスミンと魔法の絨毯で世界中を見に行く場面で歌われるバラード曲です。映像を見ながら歌ったことがある人も多いのではないのでしょうか。当日はPTAの方々のユーモアあふれる演出を楽しみながら、気持ちよく合唱することができました。

K中祭文化祭部門では、生徒作品展と同時に地域作品展が武道場で開催され、毎年多くの方々にお越しいただいています。今年も数多くの作品の完成度に驚かされましたが、初めての取り組みとして浅間町2丁目にあるアーツカレッジヨコハマ専門学校から学生の作品を出品していただきました。アニメのポスターや絵画作品でしたが、K中生や来校者の方々が寄せる興味関心は大変高かったように思います。このように地域の教育機関と連携することで、生徒作品展・地域作品展の文化的な質をさらに高めていきたいと考えています。

アーツカレッジヨコハマ専門学校の校長先生からお話を伺った際には、実際に授業を見学させていただきました。デザインやゲームクリエイター、ITエンジニアを志す若者たちが高度で専門的な技術を学ぶためにPCに真剣に向かう姿を見てみると、自分の目指す道に進もうという強い意志を感じました。

K中ではキャリア学習の一環として、11月28・29日に2年職場体験・1年職業インタビューが行われます。総合の時間ではキャリア学習として様々な職業について調べ、興味や関心をもった職業について課題を見つけました。この後、実際の職場体験の中で課題を主体的に解決していくこと、そして全体で共有しながらさらに考えを深めることは、自分の進む道を決定する際になにかのヒントを与えてくれると考えています。様々な事業所でK中生がお世話になりますが、学びの場を提供していただくことに感謝申し上げます。

さて、11月に入り行事の先頭に立って取り組んできた3年生が、それぞれの進路選択に向けて動き出しました。今度は1・2年生が、「K中の顔」として主体的に考え行動し、豊かな学校生活をつくりあげていくことを期待しています。そして1・2年生の心の支えでもある「K中の心」3年生には、「困難に打ち勝つ、ひたむきさ」という山茶花の花言葉を贈ります。